

ほのほのだより

～園の歌を手話で歌おう～

うみ

作詞：林 柳波 作曲：井上 武士

簡単で短い歌詞の中にも、日本語の美しい響きを感じられる1曲です。「うみ」の手話の小指をなめる仕草は「塩」を表しています。「塩」と「水」を合わせて「海」と表現します。仕草の意味を知ると、手話も覚えやすいですね。子どもたちと一緒に覚えていきたいと思います。

① うみは



小指をチョンとなめる仕草。



手のひらを上向きにして左から右へゆらしながら移動。

② ひろいな



両手をにぎってひじを引く。

③ おおきいな



手はピストルの形にして、左か右へ山の形に動かす。

④ つきが



右手の親指と人さし指で三日月の形をつくる。

⑤ のぼるし



右手はそのままにして、左手で水平線をつくる。ゆっくり右手を上へあげる。

⑥ ひが



日を作る。

⑦ しずむ



右手はそのままにして、左手で水平線をつくる。右手を左手の水平線の向こうにしずめる。

⑧ うみは

①と同じ動作

⑨ おおなみ



手のひらを上に向けて大きくゆらしながら左から右へ。

⑩ あおい



右手のひらでほほを下から上へなであげる。

⑪ なみ



手のひらを上に向けてゆらしながら左から右へ。

⑫ ゆれて



手のひらを上に向けて少し強くゆらしながら左から右へ。

⑬ どこ



指先を曲げて、お腕をふせたような形の手を胸の前に出す。

⑭ まで



人さし指を1本立てて左右に細かくふる。

⑮ つづく



両手の親指・人さし指でチェーンを作り前へ出す。

⑯ やら



考える仕草。

⑰ うみに

①と同じ動作

⑱ おふねを



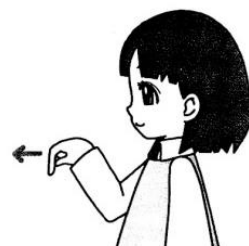
手で船を作る。

⑲ うかばせて



その船をゆすりながら前へ。

⑳ いった



体の前に右手の人さし指を下に向けて出し、前へ押し出す。

㉑ みたいな



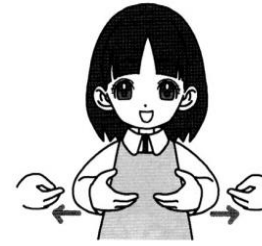
右手でのどのかわをつまむようにする。

㉒ よその



両手で球を作り、向こう側へ回転させる。

㉓ くに



両手でだ円を作り、左右に引っ張る。



民衆社「子供の手話ソング」参照